



外国人介護人材受入支援研修

介護の 日本語



介護の 知識・技術

外国人技能実習生、特定技能外国人の「介護の日本語」と「介護の知識・技術」の向上を図ります!

対象	道内の介護サービス事業所において勤務する ①または②の外国人 ① 外国人技能実習生 (介護) ② 1号特定技能外国人 ※ 外国人介護福祉士は、受講対象とはなりません。	
開催日程	令和4(2022)年3月までの期間で開催	
研修方法	オンライン形式 インターネット双方向通信システム「ZOOM」を使用します。 ※ オンラインシステムの設定、必要となる機器のご準備は各法人様でお願いします。 ※ 本研修は、新型コロナウイルスの感染予防策を講じて実施します。	
研修講師	北海道福祉教育専門学校の介護教員、日本語教師	
受講料	無料 ※ インターネット接続費用等は各法人様負担となります。	

お問い合わせ・お申込み先

<お申し込みは、勤務先施設ご担当者様がお願いします>

学校法人北斗文化学園

北海道福祉教育専門学校

北海道室蘭市母恋北町1丁目5-11

担当: 阿嘉 (あか)、久保

TEL: 0143-22-7711 E-mail: info1@hokuto-bunka.ac.jp

研修内容は…

介護技術・知識

介護現場で必要とされる基本レベルに到達するための内容

介護の基本として「介護とは何か」「尊厳とは」、生活支援技術では「食事」「入浴」「排泄」などの各介助方法、こころとからだのしくみでは「体の構造」「認知症」などを学びます。また、「自立支援・重度化防止介護」の理論と実践についても随所に盛り込んでいます。

介護の日本語

日本語能力試験におけるN3レベル相当に到達するための内容

言葉の意味、発音など基本的なことから学び直しをし、JLPT-N3相当まで引き上げることを目標にしています。過去受講施設より「以前より格段に向上した」との高い評価も得ています。本校は、「日本人から正しい日本語で日本語を学ぶ」ことを大切にしています。

受講イメージ

※ 研修時間は、1回あたり2時間でおよそ10回程度の実施を想定しています。下記① or ②をお選びください。

- ① **基礎からコースA 週1回**：介護の知識と日本語を隔週で行います。
例) 1週目→介護の日本語、2週目→介護の知識、3週目→介護の日本語、4週目→介護の知識 … (目安：約3ヶ月)
- ② **基礎からコースB 週2回**：介護の知識と日本語を毎週行います。
例) 毎週月曜日に介護の日本語、木曜日に介護の知識、翌週以降も同様に … (目安：約2ヶ月)

【実施例】(施設や受講者のニーズに応じて実施します。)

回数	時間	授業内容	講師
1	1回あたり 2時間	介護① 個別ケア、職務の理解	介護教員
2		日本語① 文化の理解	日本語教員
3		介護② ボディメカニズム・移動の介護	介護教員
4		日本語② コミュニケーションⅠ	日本語教員
5		介護③ 体の構造・認知症の理解	介護教員
6		日本語③ コミュニケーションⅡ	日本語教員
7		介護④ 食事の介護・排泄の介護	介護教員
8		日本語④ 介護の記録	日本語教員
9		介護⑤ 自立支援介護(基礎)	介護教員
10		振り返り・まとめ	介護教員



研修受講の様子



過去、新聞掲載記事
(2020.3.28 室蘭民報)

申し込みの流れ

まずは、お電話・メールにてお気軽にお問い合わせください。

- ① **申込内容の聞き取り**
在籍する技能実習生や特定技能外国人の受入状況をお聞かせください。(日本語や介護のレベル、施設様での困りごと 等)
- ② **研修参加申込み**
必要書類にご記入いただきご提出をお願いいたします。
- ③ **接続テスト**
インターネット環境の確認のため、双方向通信システム「ZOOM」を使用し、接続テストを行います。この時まで、受講に必要なPC、カメラ、マイク、インターネット回線等を用意してください。(これらは施設様負担)
- ④ **研修スタート**
研修時間中は、必ずしも日本人職員様が付き添う必要はございません。時間中は完全にお任せいただいても構いません。スムーズに研修開始ができるようインターネットに接続する作業は、施設様のご協力をお願いいたします。
- ⑤ **研修修了**
受講生には、最終日に初回と修了時の比較するための確認テストを行なっていただきます。また、施設様には受講にあたってのアンケートのご協力をお願いしています。